



県政・市政ニュース

そがべ久美子 坂本勝司



Democratic Party For the People

2019年8月31日発行
第108号



災害時 その“買い置き”が あなたを救う

災害発生時の在宅避難に備えて、 食料品や日用品を少し多めに 備えておきましょう!

日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、災害時に自宅で当面生活することが可能となります。
常に最小限備えるべき品目・量を保ちながら、多めに備えているものを日常の中で消費していくため、特別な準備は必要ありません。
このような考え方を「ローリングストック」といいます。

ローリングストックのイメージ

食べ物や日用品を少し多めに購入、日常生活で消費



乳幼児・高齢者がいる家庭
オムツ・骨髄液等

女性の場合
生理用品等

災害時に特に必要なもの



■9月1日で、関東大震災から96年が経過します。1923年(大正12年)9月1日11時58分に発生した関東大地震は、南関東を中心に発生した巨大地震で死者・行方不明者は10万人を超えた災害です。いつ起こるか分からないこの自然災害に、再度、各家庭、職場、学校などで災害時への対応を話し合い、自助・共助の取り組みを進めましょう!

首都直下地震等の大災害が発生した場合は…



電気・ガス・上下水道などが使えないおそれがあります
各ライフラインの機能を95%回復させるのに要する目標日数は、電気30日、上下水道30日、都市ガス30日*



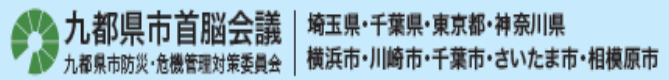
道路・鉄道等が不通になったり流通が滞るおそれがあります
危険防止や、緊急自動車の円滑な通行を確保するため主要道路の交通規制が行われる場合があります



被災後も自宅等が無事だった方は、ライフラインが復旧するまでの間を自宅等に留まって生活することが想定されます

*首都直下地震の被害想定と対策について(最終報告)(平成25年12月政府中央防災会議)より

各ご家庭の家族構成や生活様式をふまえた品目を少し多めに備えましょう。
詳しい備蓄品目等の参考例は防災首都圏ネット(九都県市HP)をご覧ください。
<http://www.9tokenshi-bousai.jp/>
九都県市共通の備蓄促進用ロゴマークとスローガンです



イベントやキャンペーンなど、詳しい情報はこちら <http://www.9tokenshi-bousai.jp/> 防災首都圏ネット 検索

災害発生後の自宅での生活継続のために 平成28年7月発行
編集発行/九都県市地震防災・危機管理対策部会事務局

国民民主党

戸塚区選出議員

くらしの声を聴かせ下さい!



そがべ久美子事務所
244-0003
戸塚町 3993
Tel 869-4559
Fax 869-4560

神奈川県議会議員
そがべ 久美子



坂本勝司事務所
244-0003
戸塚町 200-4
Tel 869-0702
Fax 864-8568

横浜市議会議員
坂本 勝司

- あなたのお住まいはどの町ですか?
- 戸塚区において、実現してほしい事と、変えてほしい事などがありましたら自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございます。点線で切り取り、FAXにてご連絡ください。



BRANCH ブランチ横浜南部市場

9月20日オープン!!

横浜市金沢区の金沢シーサイドライン「南部市場駅」前に、複合商業施設「ブランチ横浜南部市場」が9月20日(金)にオープンします。食品スーパーや飲食・物販、カフェなどを含めた約70店舗の大型商業施設です！

本事業は、横浜市が2015年3月31日をもって中央卸売市場として廃止した南部市場(1973年開設)を、本場を補完する加工・配送、流通の場として活用する「物流エリア」(約12.2万㎡)と、公募事業者の提案・整備により活用する「賑わいエリア」(約4.7万㎡)に分け事業を進めてきました。南部市場が1973年の開設以来、40年以上地元で生鮮食品を供給してきた特性を活かし、民間事業者の創意工夫による集客施設の建設・運営等の事業提案を、横浜市が公募型プロポーザル方式により募集し、大和ハウスグループの大和リース株式会社が事業者に選定されました。

また併設の横浜南部市場 食品関連卸売センターも引き続き営業を行いますので、今までと変わらずに市場の雰囲気もお楽しみ頂けます。ご家族・ご友人とお出掛け下さい！



完成予想パース ※イメージであり実際とは異なる場合があります



大和リース株式会社ニュースリリースより

多くの市民の悲願であった武道館(サブアリーナ施設)を建設中です。

現在横浜市では横浜文化体育館再整備事業として、中区不老町に横浜武道館とメインアリーナ施設の整備が進められています。この度、横浜武道館の供用開始が2020年7月と決定し、東京2020オリンピック、パラリンピック大会を契機としたさまざまなイベントに活用することができるようになりました。(横浜市の施設として弓道と相撲を除く武道全般を行うことができます。)なお、横浜文化体育館跡地に建設予定のメインアリーナ施設の供用開始は2024年4月の予定です。

<横浜武道館の主な施設内容>

	室名	面積	席数	使用例
2階	アリーナ	4,287㎡	最大約3,000席(可動席含む)	バスケットコート3面、武道8面、体操競技、講演会、演奏会等
	武道場	1,233㎡	約500席	武道4面
1階	多目的室	190㎡	約150席	会議、軽運動(ダンス等)、3室に分割可能



横浜市ではこれまで柔道や剣道などの武道を行う場所が限られており、横浜に武道場の建設を求める声が各競技団体から寄せられていました。ようやく実現する武道館に期待が高まります。

(各図は実際と異なる可能性があります)